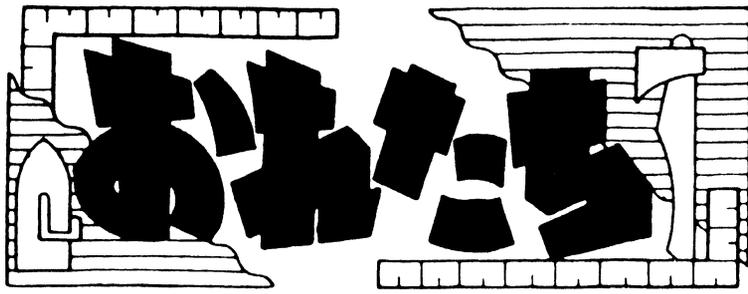


5月1日(金)は第80回メーデーのため組合事務所は閉めます

4月初組合員数=2321人(+2人)



東京土建一般労働組合荒川支部
荒川区荒川6-3-1
TEL (3892) 9131
FAX (3892) 9381
発行者 豊田佳二
編集長 小川隆志



荒川税務署まで氣勢をあげデモをする参加者

麻生政権に怒りの嵐

3・13重税反対区民集会

土建・民商ほか5団体参加

「消費税増税は絶対反対」「大幅減税を」「仕事と雇用を増やせ」全国580カ所17万人の全国統一行動に連帯して、荒川区民集会在3月13日、荒川区役所前公園で行われました。荒川区から始まったこの行動は今年で40回目になりました。土建、民商、守る会、区労連、年金者組合、靴工組合など5団体約300人が参加しました。川又好一記者「日暮里」

主催者を代表して菅荒川民商会長が「この集会是荒川区から始まり、今年40周年の節目。消費税増税に反対して、仕事確保にがんばろう」と開会あいさつ。引き続き、集会参加の各団

体代表から決意表明があり、危機的な麻生政権に対する怒りがこみ上げていました。「仕事と雇用を増やせ!」「足が悪く、みなさんと一緒にデモができないので、税務署まで待っている」といった方もいました。

荒川区労評

NTT労組 職業病解雇撤回争議支援 どうったえ 春闘決起集会に参加100人



春闘勝利にむけ決起集会を開いた参加者

【船橋賢一書記局】3月5日夜、荒川区労働組合評議会(以下、区労評)が春闘決起集会在荒川区役所前公園で行い、東京土建労組、都教職員組合、JMUIなど区労評傘下の各団体・単組から100人が参加しました。東京土建からの参加は21人でした。荒川ユニオンからは、職場と地域の組合員の状況な

税務署では請願書を読み上げられ、その後土建を先頭に確定申告の受付が進められました。

なくせ貧困・改憲阻止

第80回メーデー 5月1日、代々木公園
《とき》5月1日(金)
式典 11時~12時10分
※8時45分支部集合・出発
9時30分現地集合

《ところ》代々木公園
《参加動員》分会12~15人
《文化行事》
第一部:10時~10時45分
第二部:12時10分~13時
《メインスローガン》
①なくせ貧困、失業
②消費税引き上げ反対、社会保障制度の充実
③許すな憲法改悪
④食の安全・安心と食料自給率の向上を

現在の生活状況などについて、集会参加のみなさんに聞きました。聞き手 小野澤富彦記 者 西尾久・小川隆志記 者 南千住

賃上げこそ

最大の景気対策



賃上げこそ最大の景気対策だ。09年度春闘に勝利しよう。首切り、リストラ反対。春闘をみんなで力を合わせてがんばろう。西尾久分会 高橋秀雄さん



次の衆議院議員選挙では、消費税を絶対にはげない政党に投票したい。我々の生活安定に全力を注いでほしい。荒川分会 磯部正三さん

頼もしい政策

実行の政党に期待



各政党の政治家はマスコミでは頼もしい発言をしています。今後その言葉通り政策を実行してくれる政党に期待したい。荒川分会 中村喬一郎さん

衆院選では消費税ノ一を



都電みち

教職員らでつくる全教、日高教、日本私教連が3月8・9日に教育費の問題などにかかわって電話相談を実施しました。▼会社倒産、解雇、減収、病気で学費が払えない、など深刻な相談が200件を超えました。組合役員も「電話を受けるまで、ここまでひどいとは思わなかった」と驚きを隠せません。早急な対策が必要。▼蓄えもできないようなギリギリの生活をしてきたところに、今回の不況が拍車をかけた形です。「父ワークシェアリング、母解雇で収入減少」「不況で週2日しか仕事なく、給料6割」「自動車関連で給料半減」という理由での家計急変に加え、病気や離婚による生活苦も見られるようになってきています。▼「授業料」「入学金」が払えないという相談が、圧倒的に多いのが特徴です。全教などは「奨学金や減免制度、就学援助制度などの存在を知らない人が多い。どこに相談していいかも分からない、孤立している」といいます。▼高すぎる学費が根本的な原因ですが、当面は現行制度の周知徹底と相談体制の確立、保護者らへの声かけが必要です。▼全教などは、すべての自治体で無利子・無保証人の緊急融資制度や、支払いの猶予制度をつくらせることが求めら

れるとうたっています。

# 耐震性店舗など住宅相談13件

## 荒川産業展 9500人が来場87団体出展

【船橋賢一 書記局】3月14日、15日と荒川産業展が荒川総合スポーツセンターで行われました。全体の来場者は9514人、出展者は東京土建を含めて87団体。荒川支部からは両日で6人が参加しました。

支部では無料住宅相談を中心に取り組み、来場者13人から相談を受けました。昨年の荒川区民まつりで相談をし、今年の正月に介護申請を行って手すりをつけた方（南千住在住）や、5年先に四谷に耐震性のある店舗を建てる予定だが、大手に頼むとリスクが高いのでここに相談に来たという方（東尾久在住）もいました。

早速、相談に応じた緒方



来場者（上）と土建のブースで相談を受ける緒方さん（下、左側）

参加者の製品・技術を宣伝し、販売する良い機会となっているので、参加者は減らずに保たれています。

【川又好一 記者 日暮里】荒川区産業展は、今年30回目の開催となりました。産業展は、製造業を中心に区内の優れた製品、技術を一堂に会し、区内外に知ってもらうことを目的に開催されています。

最初の3回までは台東区で開催されていました。来場者も二日間5000〜6000人程度。その頃の製造業の出展者は、「自社の技術を見てくれ」という展示内容でした。その後、開催は荒川区に移り、毎年3月

## 第3回支部PAL総会

### 住宅資本現場 労災も焦点に

【増山国吉 通信員 西尾久】3月14日夜、第3回荒川支部PAL総会を参加17人で行いました。うちPAL会員13人。4月の大手企業交渉へ向け、活発な意見



が出されました。支部の会員拡大は、分会から収集した「野丁場・新丁場・パワービルダー」従事者調査票などをとに行っています。4月現在の会員数は36人。組織人員の1%を超えています。

総会での意見や情報は26日の東部ブロックPAL会議で交換しました。

なお、新会長に時田国勝、新副会長に萩原富士夫が再選されています。

ハウスメーカー従事者の組織化も論議された総会

## 経済危機を どうのり超えるか

京王プラザ 森永卓郎経営セミナー

【小川隆志 記者 南千住】3月8日京王プラザホテルで、森永卓郎獨協大学教授による「経営セミナー」この不況をどう乗り超えるのか！の講演が行われました。



サブプライムローンの崩壊で人間が金で序列がつけられる新自由主義が挫折したアメリカ社会の悲惨な様が、多数の実例をあげて生々しく語られました。

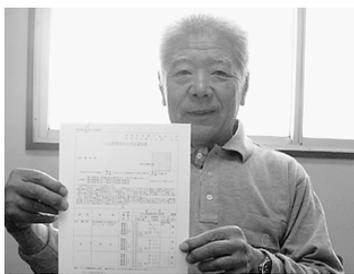
金を稼ぐには手段を選ばぬ、金を稼がない人は価値

がないという金儲けは投機至上主義の瓦解が世界経済危機の原因となっている。では、これに対してどう対処すべきか。森永さんは、景気の「気」は気分である。車の購入は3割減となっているが、買えるけれど変えない気分である。悲観論が景気を益々悪くしている。

そこで、ここは陽気なラテン文化を見習い、「わくわくどきどきして人生に対処すべき」と説きました。

テレビでおなじみの先生のユーモアあふれる講演は、大きな拍手をもって終了しました。

## じん肺の 谷本さん 労災認定



労災給付をうけ喜ぶ谷本さん

【三田秀子 書記局】「労災が認められて良かった」と話すのは、谷本健一郎さん（西尾久、石工、73歳）です。谷本さんは今年3月25日、職業病の労災認定を

受けました。谷本さんは1954（昭和29）年から、ビルの建築石材施工、石垣や大仏、百尺観音の削り作業、墓石の加工取付けなどを行ってきました。

痰が出やすいなどに異状を感じたのは41歳頃。石工仲間の健診で肺に影がありました。「じん肺」と診断されました。その後、組合のじん肺健診でも芝病院の海老原医師から「じん肺」と診断され、労災申請を勧められます。

重慶での無差別爆撃裁判の原告団から真相の解明、賠償、平和の願いのうたえたと支援のアピールがありました。

第二部では、作家の早乙女勝元さんが「東京大空襲と私」と題して講演を行い、自身も12歳で被災し、一夜にして10万人にのぼる人びとの命が奪われた体験を生々しく語りました。

最後に早乙女さんは、この訴訟は自分たちのためだけでなく、この現実を正しく認識し、再び戦争を起させない強い意志を未来につなげたいという信念のもとに提訴したと主張しました。

## 早乙女勝元さん講演 被災者の戦後は終わらず

### 東京大空襲訴訟2周年大集会

【五箇谷日出雄 通信員 荒川】3月10日、浅草公会堂で「東京大空襲訴訟二周年・人間回復をめ

ざす大集会」が開かれ、原告・弁護団、支援者など1200人が参加しました。荒川支部からは3人が参加しました。

この訴訟は64年前の悲惨な東京大空襲の被害に對し、なんの賠償も謝罪もせず、切り捨て放置した国の無責任に怒るすべての空襲被災者が提訴したものです。

第一部では、原告団から国は民間被災者に何の補償もしてこなかった。私たちの戦争は終わっていないと叫びました。

続いて、大阪大空襲訴訟の原告団の連帯のあいさつ、日本による中国・

重慶での無差別爆撃裁判の原告団から真相の解明、賠償、平和の願いのうたえたと支援のアピールがありました。

第二部では、作家の早乙女勝元さんが「東京大空襲と私」と題して講演を行い、自身も12歳で被災し、一夜にして10万人にのぼる人びとの命が奪われた体験を生々しく語りました。

最後に早乙女さんは、この訴訟は自分たちのためだけでなく、この現実を正しく認識し、再び戦争を起させない強い意志を未来につなげたいという信念のもとに提訴したと主張しました。

# 全建総連 建設不況打開で中央集会

## 地方では自殺者急増 企業の内部留保を雇用へ

【濱田和男通信員＝南千住】3月25日、全建総連は社会文化会館で「建設不況打開・生活危機突破、消費税率引き上げ反対中央決起集会」を開き、全国から1230人が参加。荒川支部は8人が参加しました。

日本を覆う未曾有の金融危機、経済の疲弊で、倒産や生産縮小が相次ぎ、正規・非正規を問わずリストラが横行。国内の景気を急速に冷え込ませてい



全建総連中央集会では生活の苦境がうたえられた

民主、公明、共産、社民の各代表があいさつ。「大企業の内留保を少しでも雇用にまわすべからず、外国に依存する企業を国内に移し、雇用を増やそう」、などうたったえました。

また、参加者から「地方では月に2、3人が自殺している深刻な状況だ」と発言がありました。先ごろ行われた長期優良住宅等の基

業の内留保を少しでも雇用にまわすべからず、外国に依存する企業を国内に移し、雇用を増やそう、などうたったえました。

また、参加者から「地方では月に2、3人が自殺している深刻な状況だ」と発言がありました。先ごろ行われた長期優良住宅等の基

### 本部大会初参加 加藤広志 東尾久2人

### 他支部の諸運動に驚き



【加藤広志通信員＝東尾久】第62回東京十建本部大会にはじめて参加しました。

分散会では各支部の組織拡大、住宅ロー、組織の構

4月2日、連翹忌とは高村光太郎（1883-1956・彫刻家・詩人）の命日とのこと。悲しみと憤りの激しい今日

光太郎の作品がよく知られているのは「智恵子抄」だ。この全人的な作品は映画化され、多くの人びとに感動を与えた。光太郎が妻、智恵子と

の報道の中で、自らを慰めるために再び光太郎の作品を手にして、傷ついた心を癒すのである。

高村光太郎の詩歴は長く、1900（明治33）年17歳の時、与謝野鉄幹が出している詩歌雑誌『明星』に短歌を投稿し発表されている。

光太郎の作品をよく知られているのは「智恵子抄」だ。この全人的な作品は映画化され、多くの人びとに感動を与えた。光太郎が妻、智恵子と

## 趣味 シーズ 彩 彩

### 荒川 並木義男さんの巻

私がハイキングを楽しむむよになったのは晝屋の修行が終わった20歳代でした。

初めて登った奥多摩の御岳山では日の出を見ました。荒川区と同じ東京とは思えない空気を今でも覚えています。

その後、月に一、二回日帰り近郊の山に行きました。家内と結婚前に登った雲取山の山小屋で見た星空は、一生忘れません。

近所の人と富士山に登り、八合目で仮眠した時は軽い高山病になりました。

なぜ、こうまでして登るのか。それは頂上に立った時、雲海から登る日の出を見て辛く登ってきたことも忘れられるからです。

一昨年、一度は行きたかった尾瀬に友人と一泊

## 富士山・御岳山…ハイキング歴30年



奥多摩の御前山に息子さんと登った並木さん

で行きました。鳩待峠から入山して、下田代十字路の山小屋で見た夕日は、空を真っ赤に染め、東京では見ない風景でした。

東京の近郊にもまだまだ沢山の自然があります。

これからも趣味と健康維持に時間を過ごし、ハイキングに行きます。

文 並木義男記者（貴、61歳）

### 2009年・春の拡大月間の状況 4/7現在

分会名	09年1/1現勢	春の拡大月間目標	到達数
西尾久	308	12	1
東尾久1	170	7	
東尾久2	188	8	
荒川	310	12	2
町屋北	229	9	1
町屋南	232	9	1
日暮里1	225	9	1
日暮里2	218	9	3
南千住	229	9	
事業所	110	4	1
直属	119		
支部目標	2338	85	9

### 春の拡大 全組合員に協力求め 月間を成功させよう

いよいよ春の拡大月間が3月25日からスタートしました（6月1日まで）。

春一番拡大など、各分会

中での月間となります。支部目標数85人（1月1日組織人員の3・5%）。

各分会でも、一昨年中に声かけを行い、様ざまな作戦でアプローチしつづけてきた対象

### 「江戸城総攻」など

09年4月1日 支部組織部長 五十嵐淳

松本清張誕生100年

5月公演は「江戸城総攻」と「左の腕―無宿人別帳」が演目です。

5月17日（日）開演16時30分

国立劇場（三宅坂）

《観劇料》6200円



### ひとくち映画情報

#### 「二セ札」

木村祐一監督



©2009『二セ札』製作委員会

戦後間もない昭和20年代、古くから紙すきが盛

んな、山あいの小さな村を舞台に、村あげて始まった二セ札づくりをユーモラスに、そしてスリリングに描きます。村人から慕われる小学校教頭の佐田かげ子（倍賞美津子）は、読む本もない学校の状況や、貧しいために進学をあきらめる子どもたちのことで胸を痛めています。そんなある日、かつての教え子、大津シンゴ（板倉俊之）から二セ札づくりを

持ちかけられます。最初は突っぱねるかげ子でしたが、村の名士で元陸軍軍人・戸浦（段田安則）の「だれか二セ札で死にますか」という言葉に心が動きます。こうして村人を巻き込んだ一大二セ札づくりが始まりますが…。「キム兄」で知られる芸人・俳優、木村祐一の長編初監督。4月11日から全国で公開されています。



ハーモニカを吹いてみせる真野さん

現場に行く  
と、ハーモニカを一つひとつ吹きながら調整をしている姿が心を打ち、大変手間がかかる作業だと知りました。また、製品の組立作業場は、熟練の職人が手際よく作業を行っていて、最終商品もやはり

### トノボ楽器製作所

## 「続」ハーモニカづくりに情熱かたおけ

弊紙3月号の続編です。今回は、ハーモニカメーカー株式会社トノボ楽器製作所の埼玉工場を訪問しました。1936（昭和11）年に木材乾燥場と製作所があった場所に、現在の埼玉工場があります。3月号ではショールームで話を聞きましたが、今回は工場専務の真野昭久さんに話を聞きました。文・写真 川又好一記者 日暮里一

一人ひとりの職人が一つひとつのハーモニカを吹きながら音の確認をしています。修理のラインも製品の組立も職人が一人ひとり仕



## 中国と国内部品を組合せ最終製品に仕上げます

「87（昭和62）年に中国の天津市に合弁会社を設立、その中国工場から来ている部品と国内部品とを組合せ、最終製品に仕上げます。職人たちは音感に優れているため、健康であれば長く勤めることができます。

切られた小部屋で作業をしている姿は、製品に対する責任を感じていることができました。工場では、ハーモニカと同様にアコーディオンの製造もしています。また、アコーディオンの本場イタリアの大手メーカーから、選りすぐりのアコーディオン各種を輸入販売していました。一通り工場の案内が終わ

## 戦前は「ミヤタバンド」、「アディバン」今は長洲剛の「メジヤンボーイ」

戦前は「ミヤタバンド」、戦後は学校の「シングルハーモニカ」や合奏用アコーディオンなど。一般的用途では「特製トノボバンド」に代表される複音ハーモニカ各調子。10穴ハーモニカ（ブルースハーモニカ）では、長洲剛、ゆずなどに愛用されている「メジヤンボーイ」など。また、海外でも品質の良さが定評でも品質の良さが定評です。



トノボの純正ハーモニカ（上）と修理・製作の様子。ていねいな作業に責任感がうかがえる

## 歴史がただよる街

### あらかわ83

#### —上野二葉家と満光寺—



満光寺は浄土宗の寺院で、二葉山尾久院と号する。もと、天台宗で室町時代の創建と伝わる。浄土宗寺院としての開山は智天上人（慶長20＝1615年

満光寺は浄土宗の寺院で、二葉山尾久院と号する。もと、天台宗で室町時代の創建と伝わる。浄土宗寺院としての開山は智天上人（慶長20＝1615年没）、開基は上野二葉村（坂本村・現台東区）名主二葉



昭和元年（1375）銘をはじめ、天文年間（1532～55）にいたる六基の板碑や、二基の庚申塔を有する。また、紙本着色山越阿弥陀図、元禄10年（1697）銘の木造智天上人坐像、満光寺文書などを所蔵。境内には二葉地蔵、二葉稻荷など、二葉家所縁のものが多い。木造閻魔坐像は二葉閻魔とも呼ばれ、頭部の内側に「元禄16＝1703年末7月」の銘がある。 崎山利正記者 日暮里一写す

## 訃報

長い間、旧西尾久2分会の財政部長を務めた疋田実さん（79歳、建築大工）が、3月4日亡くなりました。疋田さんは分会合併後、体調を崩しながらも、西尾久分会の財政副部長として運動推進の要でした。「筋の通らないことが嫌いな頑固者。人柄がよく、

分会の仲間から愛されました」と分会の仲間は話していました。 また、荒川分会で長く専門部長を務めていた新川公明さん（塗装）が、長い闘病生活の末、3月17日に亡くなりました。享年63でした。 ともにご冥福をお祈り申し上げます。 編集部